

令和5年度

## 学校評価報告書

(学)仁科学園天心幼稚園

### 1 本園の教育目標

強く！たくましく！生きる力を！

～サブテーマ あらたないっぽ～

- ・明るく元気な子ども
- ・自分で考えて行動する子ども
- ・思いやりやきびしさをもつ心豊かな子ども
- ・様々なことに心動かし表現する子ども
- ・自分なりに努力し、友だちと心を通わせながら遊ぶ子ども

### 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ① 健康・安全管理
  - ・コロナウイルスや胃腸炎、インフル等の感染症に対する予防対策(消毒、換気、清掃)を全職員が共通理解し園児にも 手洗い、消毒、黙食水分補給の意識づけ
  - ・バス送迎や遊具などの環境について安全面の見直し
  - ・バスの安全管理(送迎チェックシート・無線にて最終確認)を徹底する。
- ② 保育の質の向上
  - ・研修の選び方について、勉強したい内容を明確にし目的を持って受講する
  - ・クラスの出来事や子供との向き合い方などの園内研修を行う。
  - ・各学年会議を行う
- ③ 保護者との対応
  - ・年に2回個人懇談をおこない 園での様子や家庭などの様子を伝え合う。また 気づいた事、伝えたい事などは、積極的に連絡帳などで細やかに連携を取っていく
  - ・食育だよりを年3回だし、保護者にも家での食事の様子を書いて、食育について共通理解を深める。

### 3、評価項目の達成 及び取り組み情報

#### ◎健康・安全管理

- ・今年度もいろいろな感染症が流行り、マスクなどの規定はなくなったが感染症対策として 手洗いうがい・部屋の換気・消毒などを徹底した。
- ・危険な事などは その都度子供たちの心を育てる保育を心がけた。  
怪我などは しっかり反省し予防策を考える。
- ・怪我をしたときは 保護者に怪我の経緯をきちんと伝える。
- ・生活安全 交通安全 災害安全などの安全教育並び 環境管理などの計画表を作成し全教員で共有し合う

#### ◎教師としての資質や能力・良識・適正研修・研究

- ・今年度の研修は ZOOMと対面研修にわかれた。  
コロナ渦でできなかった、わらべうた研修や身体を使った研修などができた。  
その反面 園で受けられるZOOM研修は、移動しなくて受講できるといった利点があった。
- ・クラス担任だけでなく 補助教諭 他の教師にも情報共有・共通理解をもっと務める。必要があったと思う。

#### ◎保護者の対応

- ・保護者とは 子供の最近の様子や園でも関わり方を伝える努力をした。
- ・気になる姿や重要なことなどは 電話にて伝え保護者との連携を取るよう務めてきたが
- ・保護者からの相談に対しては 丁寧かつ真摯に向き合い 自分で判断できない場合は職員で話し合い対応した。
- ・受け入れ時など 少し会話をするように 心掛けている。保護者とのコミュニケーションを取り 園での様子を知らせるようにしている。
- ・個人情報、園外には持ち出さないよう 厳守している。

## 4、幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価判断

自己評価し 自分を振り返る事で 改善点や課題が明確になり 各教師が保育の質の向上の重要性を確認した。

## 5、今後取り組む課題

### ① 健康 安全対策

- ・ 昨年に引き続き 感染予防への実施
- ・ 今年度は、コロナへの感染予防対策の変更があったため その都度保護者に伝え共通理解に努めた。
- ・ 怪我などをしたら 必ず家庭に連携取るようにする。

### ② 教師としての資質や能力 良識 研修と研究

- ・ 今年度は ZOOM研修や対面研修とがあつたが、行事などで研修に参加できなかった。 来年度は自己課題を持って受講し勉強した事を必ず実施し 園内研修をし職員みんなで勉強できる機会を持つ。

### ③ 保護者対応

- ・ 保護者との連携は 愛情をもって、細やかにかつ丁寧に対応する

### ④ 行事について

- ・ 今年度は 全園児での行事や 父母の会を中心とした活動も復活し コロナ前の行事に戻すことができたが、その中でも感染予防の在り方などを 再度検討していく必要がある。

昨今、コロナ禍が落ち着きクラスごとの行事が  
全体で行えるようになった。

それにより園児同士の交流が増え、上の子が  
下の子に手を貸すなどみんなで支え合う姿に  
成長を感じた。

子どもからもクラス以外のお友達の話を聞く  
ことが増え、幼稚園生活を楽んでいる様子があった。  
先生達も担任だけでなく、全体で見守ってくださる  
姿に安心して預けることができた。

先生とも園での様子や家庭などの様子を伝え合い、  
気づいたことや伝えたいことなど積極的に  
連携が取れ信頼に繋がった。

園が掲げた目標を真摯に取り組み、  
保育の質を向上させる姿に共感します。